

Share the Citizen Spirits

VOL.2 (2020.3.30) 提供:(一社)消費者市民社会をつくる会(ASCON)

新型コロナウイルスの感染拡大が続き、国民生活や事業活動、そして子どもたちに重大な影響をもたらしています。

3月20日、ユニセフ(国連児童基金)は、人道行動における子どもの保護のためのアライアンス(Alliance for Child Protection in Humanitarian Action)と共同で「虐待など子どもに及び得るリスクと行動指針を示したガイダンス」を発表しました。これは決して他人事ではなく、日本においても「子ども貧困」や「こども虐待」が社会問題化しており、今回のコロナ対策に伴い、子どもたちの状況がさらに悪化しているのではないかと懸念されます。以下にプレスリリースを抜粋してご紹介します。

詳しくはこちらのサイトへ⇒ <https://www.unicef.or.jp/news/2020/0054.html>

情報を共有しましょう。そして、自分の周りを見てみましょう。何かできることはあるはずです。

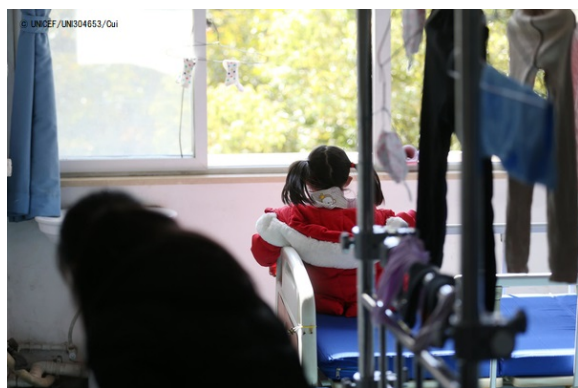
新型コロナウイルス:虐待など子どもに及び得るリスク 2020年3月20日 ニューヨーク発

COVID-19によって、数カ月間に世界中の子どもと家族の生活は一変しました。休校や移動制限により、子どもたちの日常生活と彼らを支えるシステムが制限されています。また、保護者には、仕事ができないという新たなストレスが加わっています。……

COVID-19に関連し、暴力や心理社会的苦痛に対しより脆弱になっている子どももいます。また、女性と女の子特有のニーズや立場の弱さへの考慮を欠いた措置によって、性的搾取、虐待、児童婚のリスクが高まる可能性もあります。例えば、中国では最近、女性と女兒に対する家庭内暴力の事例が著しい増加を示しています。

ガイダンスの本文中で、アライアンスは、政府と保護当局が、COVID-19のすべての予防および制御措置に、確実に子どもを守るための以下を含めることが不可欠だとしています:

*性的搾取と虐待の防止や、懸念される事例を安全に報告する方法など、COVID-19に関連した子どもの保護リスクについて、保健、教育、子どもへのサービスに携わるスタッフを訓練する。



*ジェンダーに基づく暴力(gender-based violence: GBV)の開示を管理する方法(GBV ポケットガイド)について担当者を訓練し、被害者をサポートするために保健ケアサービスと協力する。

*子どもが利用できる、相談やその他サポートに関する情報発信を増やす。

*COVID-19が子どもにどのように影響するかを評価する際に、子どもたち(特に10代の子ども)自身の声を集め、その内容を施策やアドボカシー活動に反映させる。

(次ページに続く)



臨時休校を受けて閉鎖された米国・リッジフィールドの小学校の校庭。(2020年3月17日撮影)

両親と祖父母が新型コロナウイルス感染で入院し、ひとり家に取り残された5歳のヤンヤンちゃん(仮名)。病院のスタッフとボランティアが彼女の面倒を見ている。(2020年2月17日撮影) © UNICEF_UNI304653_Cui

※掲載の写真は、ユニセフのプレスリリースに掲載されていたものです

- *暫定的なケアセンター、子どものいる世帯や里親世帯を含む家族に焦点を当ててサポートを行うことで、子どもたちを精神的に支え、適切なセルフケアに導く。
- *家計の収入に影響が及んでいる家族に向けて、財政的および物質的な支援を行う。
- *子どもと家族の分離を防ぐための対策を実施し、親または保護者の入院・死亡時に、適切なケアがなく取り残された子どもへの支援を確実にこなす。
- *すべての子どもの保護が、感染症対策において最大限考慮されるようにする。

★ユニセフ提供の「手洗い」ポスター

「感染症予防に、正しい手洗いを!!～石けんを使って「20 秒以上」新型コロナウイルスへのユニセフの対応

〈手洗いのタイミング〉

- 料理や食事をする前
 - 咳やくしゃみ、鼻をかんだ後
 - トイレの後
 - 登校/出社した時、外から戻ってきた時、帰宅した時
 - 動物や昆虫にふれた後
- その他にも、頻繁に手洗いすることが大切です。



(公社)日本食品衛生協会から(3/18)



「咳エチケット」を呼び掛けるポスター

忘れない! 思いやりの心♡ (再掲)

写真は、東日本大震災(2011.3.11)の際に全国消団連の事務局で手分けしてスーパーなどの品ぞろえ調査を行ったときに、あるお店の前で撮った写真です。(阿南)

みんなで分け合えば、できること。		お客様へのお願い
12ロール	→ 1,000人分	この度の震災で東北地方の被災者の皆さまが大変な思いをされております。 私たちが冷静な行動をとることで、被災地へ物資が届きやすくなります。 どうぞ買いだめ・買い置き防止にご協力いただきますようお願いいたします。 現在、ガソリン不足などの理由でトラック物流が混乱しており、商品の入荷が遅れておりますが、落ち着けば動き出しますのでどうぞ冷静な行動をお願いいたします。
10リットル	→ 4人	
1斤	→ 1家5人分	
1本	→ 10人分	
5kg	→ 120人分	
1箱	→ 100人	

食品、日用品の買いすぎをお控えください。分け合う気持ちを大切に。
—2011 東北地方太平洋沖地震—

【発行】

(一社)消費者市民社会をつくる会・ASCON

〒150-0001 渋谷区神宮前 2-6-1

食品衛生センター1 階

TEL:03-5413-7353 FAX:03-5413-7354

<http://ascon.bz/>